

フロストバスター

凍霜害のリスクを下げるコーヒー由来の天然抽出物
低温予報の前日に散布!

対象作物



りんご



なし



もも



おうとう



かき



茶

その他果樹
(花芽が霜害対象のもの)

使用方法

1

低温予報の前日に
本剤を500倍に
希釈して散布してください。



2

散布液が乾くまでの時間を
確保するために夕方以降の
散布は避けてください。



3

1製品あたり20aを目安に
散布してください。



使用上の注意



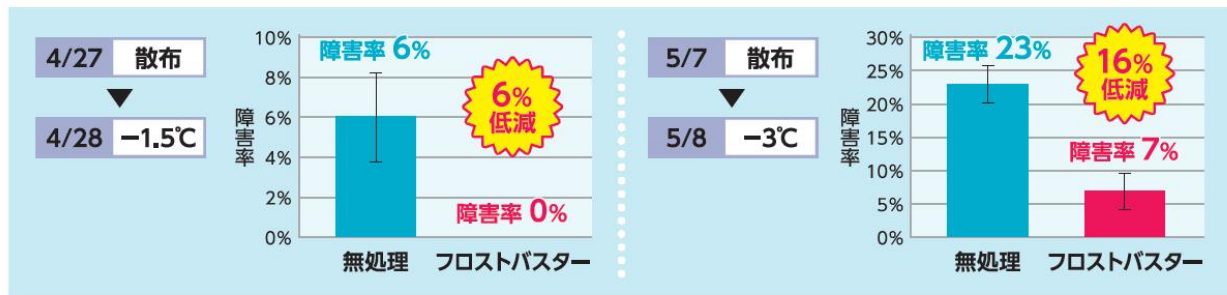
- 使用時期や気象条件等により、100%の効果が期待できない場合があります。
- 推奨希釈倍率以外で散布すると効果が低下する可能性があります。
- 散布後24時間以上経過すると効果が低下する可能性があります。



写真はイメージです

2019年 試験 りんごの凍霜害抑制

概要: りんご生産者の圃場において、低温予報前日に本剤の凍霜害抑制効果を評価
場所: 長野県小諸市 現地圃場
品種: ふじ
処理方法: 試験区、対照区各5本ずつ設定。低温予報前日に試験区5本に本剤（500倍希釈）を散布。
 ※散布日: ① 4月27日（翌4月28日に低温遭遇） ② 5月7日（翌5月8日に低温遭遇）
調査方法: 低温遭遇後、障害花発生程度（障害発生率=障害花数/調査花数）について、試験区、対照区を比較調査。



【無処理区】



霜害直後多くの花が褐変し落花 (5月9日撮影)



収穫直前果実の結実量が少ない (11月22日撮影)

【フロストバスター区】



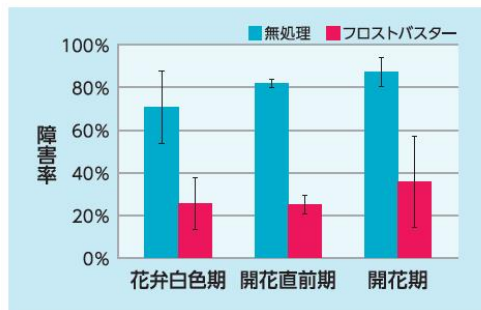
霜害直後多少褐変しているものの着花 (5月9日撮影)



収穫直前果実が多く結実している (11月22日撮影)

2020年 試験 なしの凍霜害抑制

概要: なし圃場より採取した枝を低温処理し、本剤の凍霜害抑制効果を評価
場所: 栃木県宇都宮市 栃木県農業試験場（温室）
品種: 豊水
処理方法: 1月31日に圃場の樹から1年枝を各区3枝ずつ採取し、温室で開花 3月2日に本剤（500倍希釈）を散布。
 散布後は10°Cで保存し、散布翌日に3時間・0°C、その後1時間後・-1.5°Cで低温処理。
 低温処理後は緩やかに温度を上昇させ10°Cに戻した。
 ※散布ステージ: 花弁白色期、開花直前期、開花期
調査方法: 障害花程度別発生数（0：障害なし、1：花弁褐変または雌ざい褐変、2：子房褐変）を低温処理翌日に調査。



フロストバスターお問い合わせ先 **050-2018-2581**

※受付時間：9:00-19:00
 受付期間：3/1~5/31

製造者：株式会社KUREi -カレイ- 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学イノベーション創生センター212

販売者：アサヒクオリティードイノベーションズ株式会社 茨城県守谷市緑1-1-21